

エコ・ファーストの約束  
～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～



2024年4月10日

環境大臣 伊藤 信太郎 殿

株式会社三菱 UFJ 銀行  
取締役頭取執行役員 半沢 淳一

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（MUFG）は自社の存在意義（パーパス）を「世界が進むチカラになる。」と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまや社会をはじめとする全てのステークホルダーの課題解決に取り組んでいます。三菱 UFJ 銀行は MUFG の一員として、以下のような取り組みを推進します。

**1. 本業を通じて脱炭素社会への移行を積極的に推進します。**

MUFG はカーボンニュートラル宣言において「2050 年までに投融資ポートフォリオからの GHG 排出量をネットゼロ」にすることをコミットしています。三菱 UFJ 銀行は、本業を通じて脱炭素社会への移行に貢献すべく、サステナブルファイナンスを通じ、再生可能エネルギープロジェクトなどを積極的に支援します。

また、お客さまとのエンゲージメントを通じて、お客さまの脱炭素化へ向けたニーズやステージを把握し、トランジション・ファイナンスに加えて他社とも協働しながら GHG 排出量の把握等、様々なソリューションを提供することで、お客さまの脱炭素化を支援していきます。

**2. 自社の環境負荷低減活動を推進します。**

MUFG は、カーボンニュートラル宣言において「2030 年までに自社の GHG 排出量をネットゼロ」にすることをコミットしています。また、循環型社会の形成に向けて、ごみの削減等にも積極的に取り組んでいます。三菱 UFJ 銀行は、以下のような取り組みにより、自社の環境負荷軽減を推進します。

- 再生可能エネルギー由来の電力導入推進
- 電気自動車（EV）等へのシフトによる営業車の脱炭素化
- 省エネルギーや、廃棄物のリデュース・リサイクルや資源の社内循環（クローズド・リサイクル）の取り組みを推進

### **3. 本業で対応できない課題に対しては、社会貢献活動を通じて課題解決の取り組みを推進します。**

MUFGは業務純益の約1%を活用し社会還元する枠組みを整え、寄付やボランティアによる社会貢献活動を実施し、ビジネスでアクセスしにくい環境・社会課題への対応を進めています。また、三菱UFJ銀行を含む、MUFGグループ各社では、「何かのかたちで社会に貢献したい」という社員の意欲をサポートするため、ボランティアや寄付活動を支援する制度を導入しています。この「MUFG SOUL」という取り組みでは、役職員一人ひとりが企画した環境・社会課題解決のアイデアに対し、活動資金を拠出しています。役職員が身近な環境・社会課題を起点に考え、実際に行動することで、多岐にわたる環境・社会課題の解決に貢献します。

株式会社三菱UFJ銀行は、上記取り組みの進捗状況と結果につき、環境省へ報告するとともに、株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループの統合報告書や、サステナビリティレポート、ホームページ等で定期的に公表します。

